

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年8月28日

【2017年8月19日～2017年8月25日までの推移】

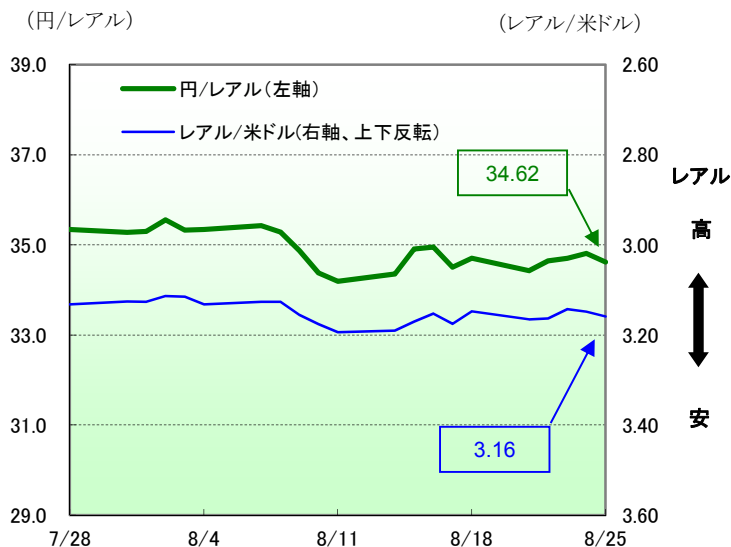
【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。2年国債金利は低下しました。

ブラジル政府は、政府が運営に直接関与する空港や港湾、高速道路などのインフラ事業を民営化すると発表しました。国営電力会社エトロプラスなども民営化の対象に含まれており、各企業の株式売却などを通じて、財政赤字の穴埋めにつなげる狙いがあります。発表を受けて、株式市場や債券市場は上昇しましたが、レアルへの影響は限定的でした。

また、発表されたインフレ率が市場予想を下回ったことで、国債金利は低下しました。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年7月28日～2017年8月25日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

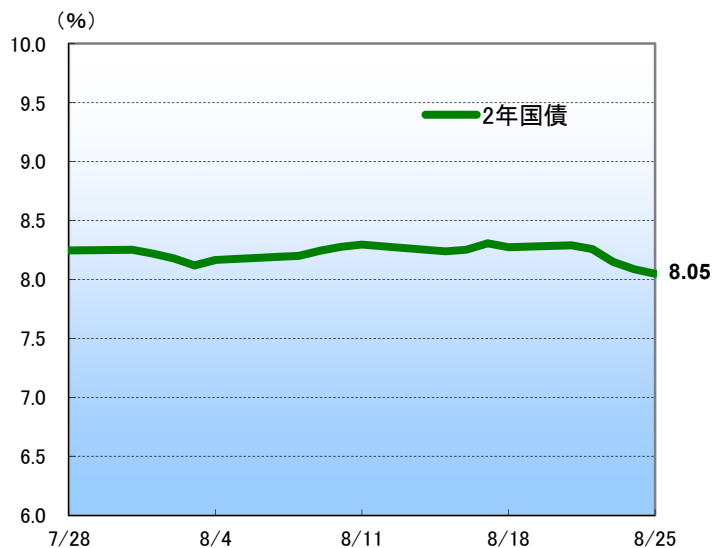
【2】今週の見通し

今週は、GDP(国内総生産)成長率などの経済指標の発表があります。中央銀行の金融緩和政策が、景気浮揚に効果を発揮するかが注目されます。

引き続き社会保障改革法案の審議・採決の行方が注目されます。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の動向を注視していく必要があると考えています。

政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル 金利推移】(2017年7月28日～2017年8月25日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>